

2014年度

明治大学専門職大学院会計専門職研究科特別講義

# 法定開示書類における 非GAAP利益の報告

日時 2015年2月7日（土）  
15:00～16:30 309F教室  
（アカデミーコモン9階）

講師 中條祐介（ナカジョウ ユウスケ）氏  
横浜市立大学国際総合科学部教授

## （略歴・業績）

一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得。横浜市立大学専任講師・助教授を経て現職。主要業績として、伊藤邦雄・桜井久勝編『体系現代会計学第3巻 会計情報の有用性』中央経済社、伊藤邦雄編『企業会計研究のダイナミズム』中央経済社、「中期経営計画情報の自発的開示行動とその企業特性」『会計』（日本会計研究学会・学会賞）など。

## （コーディネーター：梅原秀継教授より）

一般に、有価証券報告書など法定の開示書類については、「一般に認められた会計原則」（GAAP）によって計算された経常利益や純利益が重視されてきました。しかし、最近では、EBITDAやキャッシュ・インカムなど必ずしもGAAPに基づかない会計数値も有価証券報告書で開示されており、それらの利用法や効果をめぐって、活発な議論が行われています。今後のディスクロージャー制度のあり方を考えるうえでも非常に重要な論点といえますので、積極的にご参加ください。



所属学部・学年不問、  
一般の方も予約不要です。  
お気軽にご参加ください。

◆お問い合わせ先  
明治大学専門職大学院会計専門職研究科  
Tel 03-3296-2399  
<http://www.meiji.ac.jp/macs/>